



第 31 回例会報告(3月1日)

【出席報告】

・会員数 53名
・当日出席率 65.11%
・欠席数 23名
・前々回修正出席率 91.67%
 <欠席会員> 藤田、原、檜垣(賢)、檜垣(巧)、平尾、菅、栗西、桑森、松木、光藤、村上(裕)、越智(務)、尾越、竹田、藤堂
 〔免除会員〕青野、原田、門田、金森、松本、村上、白石、八木
 <2/16欠席補填>(2/4IM)飯、大澤 (2/14IAC)藤田 (2/14今治南)青野(淳)、檜垣(直)、檜垣(俊)、冠、川上、栗西
 小堀、桑森、尾越、藤堂、渡辺、矢野 (2/17西条)村上(裕)

入会式・アキクリニック院長 平田勝豪(ひらた かつひで)氏の入会式が行われました。

会長報告・米山記念奨学会より、第21回米山功労クラブの感謝状が届きました。



国際奉仕委員会アワー

スーパーワールドクラブ悠々列車 代表取締役 大澤真知子

「Critical Thinkingと留学」

今治とバンクーバーに拠点をもうけ独自の英語教育を35年しています。日本の英語教育は旧態依然としており、英語圏の考え方を理解していません。旅行代理店に任せない独自のプログラムを20年していました。これは、留学斡旋業者にまかせると、送っていくらの世界で、最初に全額払い込み、その後のサポートは一切しません。そこでバンクーバーに基地を作り(1994~2004)、全国から送った生徒の面倒をみました。間違えて送られる子が多いのです。2008年のカナダへの一般の留学生3600人の内、高校、大学を卒業できたのは10%以下です。英語のレベルが大学レベルまでいかず、語学学校に2年程いてほとんどの人が帰ってきます。現実を知らせないといけません。私は生徒を何百人と送りましたが、90%は卒業させています。うまくいかないのは、Critical Thinkingができないからです。Critical Thinkingとは、学校教育の後、西欧人が最終的に取得すべき考え方、高等教育のゴールです。ある物事に対して、感情的にならず、客観的、科学的に、自分で検証しながら、これが最も真実と思うことに近づくことです。英語圏の大学に入るためには、日本の英語教育にCritical Thinkingをいれないといけないと思います。

<ゲスト> スーパーワールドクラブ 悠々列車 代表取締役 大澤真知子様
 数学専門家 ロバート ミックミラン様
 (有)アンカーデザイン 代表取締役 岡田昌平様

次回例会(3月8日)

【新世代奉仕委員会アワー】

<会員誕生日祝> 原田 政一氏(3/14) 小堀陽一郎氏(3/21)
 <配偶者誕生日祝> 光藤 廣司氏(3/8) 島田雄二郎氏(3/12) 越智 務氏(3/13)
 村上 修三氏(3/17)
 <結婚記念日祝> 原田 政一氏(3/15) 吉良 敏彦氏(3/15) 吉田 透氏(3/16)
 佐伯 和信氏(3/18) 大澤 正尚氏(3/20) 冠 康秀氏(3/21)
 <入会記念日祝> 近藤 正人氏(3/9) 檜垣圭之介氏(3/13) 金森 節生氏(3/13)

〔 笹 〕